

旭川赤十字病院医学雑誌編集および投稿規程

【編 集】

1. 本誌は、医学・医療に関する論文で未発表のもの、ならびに年報(学会発表、その他研究会発表、講演および雑誌掲載論文・記事など)を掲載する。
2. 論文には、総説、臨床研究(原著論文)、症例報告を含む。
3. 本誌は年1回発行し、原稿の締め切りは毎年1月31日とする。
4. 本誌の編集は旭川赤十字病院医学雑誌編集委員が行う。
5. 論文掲載の採否は2名以上の審査員の審査結果に基づき編集委員会が決定する。
6. 本誌に掲載された原稿の著作権は、旭川赤十字病院に帰属する。また、本誌の内容は「日本赤十字社医学図書館“赤十字リポジトリ”」上に公開され、また著者抄録が「医中誌Web」(医学中央雑誌)上にて公開されるものとする。
7. 掲載料は無料とし、希望する筆頭著者には別冊10部を贈呈する。
8. この規定は旭川赤十字病院医学雑誌ワーキンググループで変更されることがある。

【投稿資格】

筆頭著者は旭川赤十字病院勤務者に限る。ただし、編集委員から依頼した者はこの限りではない。

【倫理的配慮】

臨床研究の場合はヘルシンキ宣言(ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、1964年6月世界医師会総会)を基礎とし、原則として当院倫理委員会による承認が必要である。原稿には倫理委員会の承認を得ていることを記載する。

【個人情報保護】

臨床研究を投稿する際は、研究対象者のプライバシーと個人情報の機密性を守るため、患者が特定されないよう十分に配慮する。

1. 患者個人の特定が可能な医療情報は記載しない。
2. 論文の作成上、患者写真を提示することが不可欠な場合に限り、患者が特定できないように処理をした上で使用する。(例:顔面写真では目を隠す、あるいは該当部分を拡大写真とするなど)

【インフォームド・コンセント】

症例報告等、患者情報の記載のある論文の投稿に際しては、患者からインフォームド・コンセントを受けなければならない。取得した「同意書」のコピーを投稿時に提出する。未成年の患者、知的障害あるいは認知機能低下を持つ対象患者については、代諾者等からインフォームド・コンセントを受けなければならない。書面で同意が取得できない場合は、同意を得たことを公式に記録に残す。

(例:本症例の提示については、患者からインフォームド・コンセントを文書にて取得した、インフォームド・コンセントを口頭で取得し、その旨を診療録に記載した、など)

【利益相反】

投稿にあたってすべての著者は投稿時点の過去1年間における利益相反(COI)につ

いて、所定の様式にて申告する。利益相反の有無については論文の末尾、謝辞または文献の前に記載する。COI状態がない場合は、「申告すべきCOI状態はない」と記載する。

【投稿規定】

1. 原稿は和文または英文とする。
2. 論文の種類の変換は以下とする。

総 説	特定の医学・医療分野の主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に記したもの
臨床研究(原著論文)	臨床医学における特定の主題について、研究目的、研究方法を明示して実施し、結果を考察したもの
症例報告	特定の疾患、病態に関して示唆に含む臨床例の報告

3. 原稿の長さは以下とする。

	原稿文字数	和文要約	英文要約	Key words	文献数
総 説	8,000字以内	800字以内	400語以内	5語以内	30編以内
臨床研究(原著論文)	8,000字以内	800字以内	400語以内	5語以内	20編以内
症例報告	6,000字以内	400字以内	200語以内	5語以内	15編以内

* 図表は、1枚につき大は800字、小は400字をめやすに換算する。

4. 原稿は次の順序に従って記載する。

1) タイトルページ

表題は和文50字以内、原則として英文タイトルを記載する。表題には原則として略語を使用しない。

2) 著者は10名以内とする。著者のローマ字表記は名、姓の順とし、名の第1文字は大文字、第2文字以下は小文字とし、姓はすべて大文字とする。連名の場合はカンマ(,)でつなぐ。(例:Taro YAMADA)

3) 5語以内のKey Wordsを付記する。

4) 所属機関名および英文名所属機関名(共著者の所属が異なるときは右肩に上付き番号を記載し区別する)

5) 要約

臨床研究、症例報告には和文要約と、原則として英文要約を添付する。

6) 本文

(1) 本文原稿は標準的なFont (MS明朝、MSゴシックなど)を用いたWordで作成し、10.5 ptの文字を使用し、余白は上下左右25mmとする。

(2) 英文・数字は半角とし、カタカナは全角とする。

(3) 句点はコンマ(,)とし、読点は(。)とする。

(4) 『はじめに』『目的』『対象・方法』(看護の場合『倫理的配慮』『結果・成績』『考察』『結論』『文献』もしくは、『はじめに』『症例・臨床的事項』『考察』『文献』の形式で記載する。

(5) 見出しの表記方法

a. 大項目の表記は、I. II. III. … と ローマ数字(大文字)で記載する。

b. 中項目の表記は、1. 2. 3. … とし、数字の右はピリオドする。

c. 小項目の表記は、(1) (2) (3) … とする。

7) 文献

引用文献は、論文と直接関連のあるものととどめ、本文中の該当箇所の右肩に¹⁾²⁾のように記載順に番号をつける。本文の最後に1), 2), と引用順に記載する。(「引用文献の記載項目と記載例」を参照)

8) 図表

(1) 図(写真を含む)および表は登場順にそれぞれ番号をつけ、本文中に挿入箇所を明記する。

(2) 図はそのまま印刷製版できる明瞭な図とし、表は画像ではなく文字を抽出できる形式(Excel, Word、PowerPoint)で作成する。

(3) 図表は原稿とは別にまとめ、表題および簡単な説明をつける。(表題は図・写真の場合は下、表の場合は上につける)

(4) 他誌掲載の図表を転載使用する場合は出所を明示する。

(5) カラー印刷ではないため図表はモノクロとなる。図表はグレースケールでの作成が望ましい。

9) その他

(1) 略語

略語は使用しない。本文中に略語を使用する場合は、初出箇所に「フルネーム(略語)」の形式で記載する。例)graft versus host disease (GVHD)または、文中に頻回に使用される長い術語は、初出箇所に省略せず記載し、(以下○○と略す)と記載する。

(2) 商品名など登録商標には、「Registered(登録された)」の®(Rマーク)を右肩に表記する。

(3) 学会発表したものについては、文末に「本研究は第○回 ○○学会(地域)にて発表した」の文言を記載する。

5. 以上の原稿を電子媒体で提出する(メール添付可)。

【引用文献の記載項目と記載例】

雑誌	著者名: 表題, 雑誌名, 巻(号), 引用頁(初め-終り), 発行年(西暦). (共著者は3名まで表記し, それ以外は他とする. 英文の場合“et al.”とする)
	和文例) 日赤太郎 他: 感染動態における好中球の役割. 感染症誌65, 275-283, 1993. 英文例) Gines P, Cardenas A, Arroyo V, et al: Management of cirrhosis and ascites. N Engl J Med 350: 1646-1654, 2010.
書籍 (単行本)	著者名: 書籍名(版), 出版社, 引用頁(初め-終り), 発行年(西暦).
	和文例) 日赤太郎: 内科疾患と皮膚病変, 永井書店, 205-213, 2010. 英文例) Charles R. Set al: The metabolic basis of inherited disease, McGraw-Hill, 212-218, 2003.
ガイド ライン	編集: ガイドライン名, 版数, 出版社, 引用頁(初め-終り), 発行年(西暦).
	パーキンソン病治療ガイドライン作成委員会編: パーキンソン病治療ガイドライン 2011, 医学書院, 2-4, 2011.
WEB サイト	著者名(掲載の年月日), Webページの題名, Webサイトの名称, アクセス年月日, URL. または、発行機関名, (調査/発行年次), 表題, アクセス年月日, URL. 例) 文部科学省(2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, 2015年4月10日閲覧, http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf .
電子 雑誌	・DOIがある学術論文 －著者名(出版年): 論文名, 誌名, 巻(号), 頁. doi: xx.xxxxxx (アクセス年月日) － Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. doi: xx.xxxxxx (accessed Year-Month-Day)
	・DOIのない学術論文 －著者名(出版年): 論文名, 誌名, 巻(号), 頁. http://www.xxxxxxx (アクセス年月日) － Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. Retrieved from http://www.xxxxxxx (accessed Year-Month-Day)
電子 書籍	・DOIがある書籍 －著者名(出版年): 書籍名, doi: xx.xxxxxx (アクセス年月日) － Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of book, doi: xx.xxxxxx (accessed Year-Month-Day)
	・DOIのない書籍 －著者名(出版年): 書籍名, http://www.xxxxxxx (アクセス年月日) － Author, A. A., & Author, B. B. (Year): Title of book., Retrieved from http://www.xxxxxxx (ac-cessed Year-Month-Day)

*DOIとは、「デジタルオブジェクト識別子(Digital Object Identifier)」の頭文字であり、電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどに付与される国際的な識別子をいう。コンテンツの所在情報(URL)等とともに管理される。

【年報】

1月から12月末日の期間における以下のものを、翌年1月31日まで提出する。

- 学会発表等: 全国学会, 地方会, 研究会等に区分し, 演題名, 発表者名, 発表学会名(第〇回も必ず, 発表年(西暦)). 月, 場所
- 講演: 演題名, 講演者名, 講演会名, 講演年(西暦). 月, 場所
- 掲載論文: 発表者名, 論文題名, 発表雑誌名, 巻, 頁～頁, 発行年(西暦).
- 論文以外の雑誌投稿も同様の報告とする。

2016年10月14日作成	2018年1月10日改訂
2017年3月10日改訂	2019年3月27日改定
2017年7月31日改訂	2021年6月1日改定